

令和 7 年 度

山形県立山形北高等学校
普通科
音楽科

募 集 要 項



山形県立山形北高等学校

〒990-0041 山形市緑町二丁目 2 番 7 号

TEL (023) 622-0427 (職員室)

FAX (023) 623-2966 (職員室)

本校の教育目標

- 1つ 「ほがらかに^{あたた} 温かく」
- 2つ 「まえむきに^{ほこ} 誇らしく」
- 3つ 「しなやかに^{たくま} 逞しく」

- ・ 1については、優しいところをもち、他を思いやる人に成長して欲しいとの願いを込めている。
- ・ 2については、向上心を持って、堂々と自分の人生を生きていって欲しいとの願いを込めている。
- ・ 3については、そのために、心身ともに健康な人となるよう勉学に励んで欲しいとの願いを込めている。

山形県立山形北高等学校 令和7年度募集要項目次

本校の教育目標	1
スクール・ミッション スクール・ポリシー	2
教育課程表	3～4
普通科募集要項	
普通科一般入学者選抜	5～7
音楽科募集要項	
音楽科推薦入学者選抜	8～9
音楽科一般入学者選抜	10～12
山形県公立高等学校入学者選抜における音楽科の適性検査について	13～14

入学願書（推薦書）等用紙	
1. 普通科一般入学願書	白色
2. 音楽科推薦入学願書・自己推薦書	黄色
3. 音楽科一般入学願書	水色
4. 音楽科「適性検査選択受検種別・受検曲目記入表（推薦）」	黄色
5. 音楽科「適性検査選択受検種別・受検曲目記入表（一般）」	水色

山形県立山形北高等学校〔全日制〕

○スクール・ミッション

文化と芸術の風薫る環境の中で、校歌にある「倦（う）まず たゆまず ほがらかに」を胸に、普通科と音楽科の生徒が様々な関わりを通して、互いに感性と能力を磨き合いながら粘り強く着実に学び、自己実現に向けて果敢に挑戦し続け、未来をひらき地域の社会と文化を支える人材になるための力を育成します。

○スクール・ポリシー

普通科

【育成を目指す資質・能力に関する方針】〈このような力を育てます〉

- (1) 地域の社会と文化を支えるために、基礎学力の定着を図り、進路実現につながる応用的・発展的な学力を育成します。
- (2) 多様な考えを受け止め、自ら思考・判断し、自分の考えを伝える力を育成します。
- (3) 自ら目標を定め、主体的に行動し継続して学びに向かう人間性を育成します。

【教育課程の編成及び実施に関する方針】〈このような教育活動を行います〉

- (1) 進路志望に応じたクラスの編成と教科・科目の設定を行います。
- (2) 達成感や充実感を高められるように、生徒主体の学校行事を実施します。
- (3) キャリア教育推進の視点から、地域の教育資源を生かし、課題解決に向けて探究活動に取り組みます。

【入学者の受入れに関する方針】〈このような生徒を待っています〉

- (1) 将来への明確な目標を持ち意欲的に学習に取り組む生徒を募集します。
- (2) 人との関わりを大切にして、学校生活に積極的に取り組む生徒を募集します。
- (3) 部活動やボランティアなどの課外活動に熱心に取り組む生徒を募集します。

音楽科

【育成を目指す資質・能力に関する方針】〈このような力を育てます〉

- (1) 地域の社会と文化を支えるために、基礎学力の定着を図り、進路実現につながる応用的・発展的な学力を育成します。
- (2) 自ら目標を定め、主体的に行動し継続して学びに向かう人間性を育成します。
- (3) 音楽の基礎的知識と技能を習得し、専門性を生かし音楽に関わる業界などに貢献できる力、協働する力を育成します。
- (4) 豊かな感性をもち、音楽の魅力を表現する力を育成します。

【教育課程の編成及び実施に関する方針】〈このような教育活動を行います〉

- (1) 進路志望に応じた教科・科目の設定を行います。
- (2) キャリア教育推進の視点から、地域の教育資源を生かし、課題解決に向けて探究活動に取り組みます。
- (3) アンサンブル活動等を通し、生徒主体の演奏会を実施します。
- (4) プロの音楽家や大学の指導者を招き、個々の技術の向上を図ります。

【入学者の受入れに関する方針】〈このような生徒を待っています〉

- (1) 将来への明確な目標と音楽に関して高い志を持ち、意欲的に学習に取り組む生徒を募集します。
- (2) 人との関わりを大切にして、学校生活に積極的に取り組む生徒を募集します。
- (3) 音楽について適した素質や能力、特長を持つ生徒を募集します。

令和7年度入学者
山形県立山形北高等学校
教育課程表
普通科

類型名称				文型				備考	理型				備考		
教科	科 目	標準 単位数		学年別単位数					学年別単位数					備考	
(必修科目◎、選択必修科目○、学校設定科目●)						1年	2年		3年	計	1年	2年		3年	計
						1年	2年		3年	計	1年	2年		3年	計
国語	現代の国語	2	◎	2			2	第1学年 数学Ⅱは数学Ⅰの履修後に履修する 芸術は音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰから1科目を選択履修	2			2	第1学年 数学Ⅱは数学Ⅰの履修後に履修する 芸術は音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰから1科目を選択履修		
	言語文化	2	◎	3			3		3			3			
	論理国語	4				3	3				2	2			
	文学国語	4			2		2			2		2			
	古典探究	4			3	3	6			2	3	5			
地理歴史	地理総合	2	◎		2		2	第2学年 地理歴史は地理総合と歴史総合の履修後に、地理探究・日本史探究・世界史探究から1科目を選択履修 前期に数学B、後期に数学Cを履修 芸術は音楽Ⅱ・美術Ⅱ・書道Ⅱから1科目を選択履修		2		2	第2学年 前期に数学B、後期に数学Cを履修 理科は物理または生物のいずれかを選択履修 物理基礎と生物基礎を履修後に、物理または生物のいずれかと化学を履修		
	地理探究	3			2	4	0・6								
	歴史総合	2	◎		2		2			2		2			
	日本史探究	3			2	4	0・6								
	世界史探究	3			2	4	0・6								
公民	公共	2	◎	2			2	第3学年 前期に数学B、後期に数学Cを履修 数学Ⅲまたは数学総合のいずれかを選択履修 理科の選択は2年の継続	2			2	第3学年 前期に数学B、後期に数学Cを履修 数学Ⅲまたは数学総合のいずれかを選択履修 理科の選択は2年の継続		
	政治・経済	2				2	2				2	2			
数学	数学Ⅰ	3	◎	3			3	第3学年 地理歴史の地理探究、日本史探究、世界史探究の選択は2年からの継続 「数学Bと数学Cと数学総合」または「芸術研究とフードデザイン」のいずれかを選択履修 前期に数学B、後期に数学Cを履修 理科の選択は2年の継続	3			3	学校設定科目 「数学総合」は平成20年度開設		
	数学Ⅱ	4		1	3		4		1	3		4			
	数学Ⅲ	3									5	0・5			
	数学A	2		2			2		2			2			
	数学B	2			1	◇1	1・2			1	1	2			
	数学C	2			1	◇1	1・2			1	1	2			
	数学総合		●			◇3	0・3				5	0・5			
理科	物理基礎	2	○					芸術選択について Ⅱを付した科目はそれぞれに対応するⅠを付した科目の履修後に、それぞれ履修する。		2		2	学校設定科目 「数学総合」は平成20年度開設 「芸術研究（音楽）」 「芸術研究（美術）」 「芸術研究（書道）」は平成26年度開設 芸術研究の選択は芸術ⅠⅡの履修を問わない		
	物理	4								2	4	0・6			
	化学基礎	2	○	2			2		2			2			
	化学	4								2	4	6			
	生物基礎	2	○		2	2	4			2		2			
	生物	4								2	4	0・6			
	地学基礎	2	○		2	2	4								
保健体育	体育	7～8	◎	3	2	2	7	学校設定科目 「数学総合」は平成20年度開設 「芸術研究（音楽）」 「芸術研究（美術）」 「芸術研究（書道）」は平成26年度開設 芸術研究の選択は芸術ⅠⅡの履修を問わない	3	2	2	7	学校設定科目 「数学総合」は平成20年度開設 「芸術研究（音楽）」 「芸術研究（美術）」 「芸術研究（書道）」は平成26年度開設 芸術研究の選択は芸術ⅠⅡの履修を問わない		
	保健	2	◎	1	1		2		1	1		2			
芸術	音楽Ⅰ	2	○	2			0・2	第3学年 前期に数学B、後期に数学Cを履修 数学Ⅲまたは数学総合のいずれかを選択履修 理科の選択は2年の継続	2			0・2	学校設定科目 「数学総合」は平成20年度開設 「芸術研究（音楽）」 「芸術研究（美術）」 「芸術研究（書道）」は平成26年度開設 芸術研究の選択は芸術ⅠⅡの履修を問わない		
	音楽Ⅱ	2			1		0・1								
	美術Ⅰ	2	○	2			0・2		2			0・2			
	美術Ⅱ	2			1		0・1								
	書道Ⅰ	2	○	2			0・2		2			0・2			
	書道Ⅱ	2			1		0・1								
	芸術研究（音楽）		●			◇3	0・3								
	芸術研究（美術）		●			◇3	0・3								
	芸術研究（書道）		●			◇3	0・3								
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	◎	3			3	第3学年 前期に数学B、後期に数学Cを履修 理科の選択は2年の継続	3			3	第3学年 前期に数学B、後期に数学Cを履修 数学Ⅲまたは数学総合のいずれかを選択履修 理科の選択は2年の継続		
	英語コミュニケーションⅡ	4			4		4			4		4			
	英語コミュニケーションⅢ	4				4	4				4	4			
	論理・表現Ⅰ	2		2			2		2			2			
	論理・表現Ⅱ	2			2		2			2		2			
	論理・表現Ⅲ	2				3	3				2	2			
家庭	家庭基礎	2	◎	2			2	第3学年 前期に数学B、後期に数学Cを履修 数学Ⅲまたは数学総合のいずれかを選択履修 理科の選択は2年の継続	2			2	第3学年 前期に数学B、後期に数学Cを履修 数学Ⅲまたは数学総合のいずれかを選択履修 理科の選択は2年の継続		
情報	情報Ⅰ	2	◎	2			2		2			2			
家庭	フードデザイン	2～6				◇2	0・2								
総合的な探究の時間		3～6	◎	1	1	1	3		1	1	1	3			
合計				31	31	31	93		31	31	31	93			
卒業までに修得すべき単位数				84					84						
特別活動	ホームルーム活動			1	1	1	3	毎週水曜日6校時	1	1	1	3	毎週水曜日6校時		
	生徒会活動（時間）			8	8	8	24		8	8	8	24			
	学校行事（時間）			50	75	50	175		50	75	50	175			
授業の1単位時間				50分											

音楽科

教科	科 目	標準 単位数		学年別単位数				備考
				1 年	2 年	3 年	計	
(必修科目◎、選択必修科目○、学校設定科目●)								
国語	現代の国語	2	◎	2			2	各学年 「独唱 A と鍵盤楽器 A」または「独唱 B と鍵盤楽器 B と管弦打楽器」のいずれかを選択履修（継続履修） □ 4 単位または◇ 4 単位の選択
	言語文化	2	◎	2			2	
	論理国語	4				3	3	
	文学国語	4			2		2	
	古典探究	4			2	2	4	
地理歴史	地理総合	2	◎			2	2	合唱・合奏のいずれかを選択履修（継続履修）
	歴史総合	2	◎	2			2	
公民	公共	2	◎		2		2	第 1 学年 重唱・重奏のいずれかを選択履修
数学	数学Ⅰ	3	◎	3			3	
	数学解析Ⅰ		●		※2		0・2	
	数学解析Ⅱ		●			△4	0・4	
理科	科学と人間生活	2	◎	2			2	第 3 学年 △数学解析Ⅱとソルフェージュのいずれかを選択履修 ただし、数学解析Ⅱは数学解析Ⅰを履修した者に限る ○地学基礎と演奏研究のいずれかを選択履修
	生物基礎	2	◎		2		2	
	地学基礎	2				○2	0・2	
保健体育	体育	7～8	◎	2	2	3	7	学校設定科目 「数学解析Ⅰ」「数学解析Ⅱ」は平成30年度開設
	保健	2	◎	1	1		2	
外国語	英語コミュニケーションⅠ	3	◎	3			3	
	英語コミュニケーションⅡ	4			4		4	
	英語コミュニケーションⅢ	4				4	4	
	論理・表現Ⅰ	2		2			2	
	論理・表現Ⅱ	2			2		2	
	論理・表現Ⅲ	2				2	2	
家庭	家庭基礎	2	◎		2		2	
情報	情報Ⅰ	2	◎	2			2	
共通教科・科目単位数合計				21	19・21	16・22	56・58・64	
音楽	音楽理論	3	◎	1	1	1	3	
	音楽史	1～2				2	2	
	演奏研究	1～2			1	○2	1・3	
	ソルフェージュ	4～7		2	2・※2	△4	4・8・10	
	声楽	3～10		□2	□2	□2	0・6	
				◇1	◇1	◇1	0・3	
				1┐	1┐	1┐	0・3	
					1┐		0・1	
	器楽	6～13		□2	□2	□2	0・6	
				◇1	◇1	◇1	0・3	
				1┐	1┐	1┐	0・3	
					1┐		0・1	
			◇2	◇2	◇2	0・6		
専門教科・科目単位数合計				9	9・11	8・14	26・32・34	
総合的な探究の時間		3～6	◎	1	1	1	3	
合計				31	31	31	93	
卒業までに修得すべき単位数				84				
特別活動	ホームルーム活動			1	1	1	3	毎週水曜日 6 校時
	生徒会活動（時間）			8	8	8	24	
				対面式、生徒総会、生徒会役員、壮行式				
	学校行事（時間）			56	81	56	193	
新形式、始業式、終業式、入学式、卒業式、式予行、創立記念式、離任式、修学旅行、演劇教室、合唱コンクール、東枝大会、北高祭、避難訓練、定期演奏会								
授業の 1 単位時間				50分				

普通科募集要項

普通科一般入学者選抜

1 募集する課程・学科と募集人員

全日制の課程 普通科 160名

2 志願資格

次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 令和7年3月に中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校を卒業見込みの者若しくは中等教育学校の前期課程（以下「中学校」という。）を修了（以下「卒業」という。）する見込みの者で令和7年度推薦入学者選抜、中高一貫教育における連携型入学者選抜及び前期（特色）選抜において合格内定していない者。
- (2) 中学校を卒業した者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条の各号のいずれかに該当する者。

3 通学区域

東学区・北学区とする。

4 出願に必要な書類

A 共通に必要な書類

- (1) 一般入学願書
 - ①用紙は本校で定めたもの（白色の用紙）を使用し、記入上の注意に従って正確に記入する。
 - ②2,200円の山形県収入証紙を貼る。ただし、消印はしないものとする。
- (2) 調査書
 - ①山形県教育委員会で定めた様式及び手続きに従って作成したものとする。

B 個別に必要な書類

- (1) 自己申告書
進路等相談を踏まえ、本校校長がその提出を認めたとき。
- (2) 学区外高等学校志願許可書
県教育委員会に「学区外高等学校志願許可願」を提出し許可を受けたとき。
- (3) 推薦入学者選抜受検票
本校音楽科の推薦入学者選抜に漏れた者が志願するとき。
- (4) 推薦入学者選抜願書の写し、連携型入学者選抜願書の写し又は前期（特色）選抜入学願書の写し
他校の推薦入学者選抜、連携型入学者選抜又は前期（特色）選抜に漏れた者が志願するとき。
- (5) 在籍高等学校長の志願承諾書
高等学校に在籍のまま志願するとき。

C その他の書類

中学校長は、本校校長に「評定概況」を1部提出する。ただし、県外からの志願者及び特別支援学校、令和5年度以前の卒業者からの志願者については、提出を要しない。

5 書類の提出

- (1) 出願書類は「一般入学者選抜志願者名簿」を添えて、在籍又は出身中学校長を経由して本校校長に提出する。
- (2) 調査書、評定概況、学区外志願に係る書類、自己申告書については、音楽科推薦入学者選抜の志願にかかわって、本校に提出済の場合は、提出を要しない。
- (3) 提出先 〒990-0041 山形市緑町二丁目2番7号（TEL（023）622-0427）
山形県立山形北高等学校長あて
- (4) 受付期間
令和7年2月17日（月）から2月21日（金）12時までとする。郵送の場合でも締切日時までに必着とする。
- (5) その他
 - ①郵送する場合には、簡易書留郵便とし、表に「一般入学願書在中」と朱書する。なお、原則として返信用切手460円分〔郵送料110円及び簡易書留料金350円分〕を貼った出願者本人の在籍又は出身中学校長あて返信用定形長3号封筒を同封すること。（但し、複数の志願者の書類を郵送する場合、2人～5人まで返信用切手530円分、6人～8人まで返信用切手620円分）
 - ②出願書類を本校に直接持参し提出する場合には、9時から16時45分まで、本校北高会館で受け付ける。ただし、2月21日（金）は12時までとする。
 - ③事情により学区外から志願する者は、令和7年1月末を目途に学区外高等学校志願許可願1部を山形県教育委員会教育長に提出し、県教育委員会が送付するその許可書を一般入学願書に添付すること。ただし、次の場合は学区外高等学校志願許可願の提出を必要とせず、以下のように取扱う。
ア 令和5年度以前の卒業で、出身中学校が学区外かつ現在の居住地が学区内である場合は住民票等を一般入学願書に添付すること。

イ 区域外就学者のうち、現在の居住地が志願先高等学校の学区内である場合は、区域外就学承諾書の写しを一般入学願書に添付すること。

- ④県外から志願する者は、その都道府県内の公立高等学校に志願しない旨の在籍中学校長の証明書を添え、令和7年1月末を目途に学区外高等学校志願許可願1部を山形県教育委員会教育長に提出し、県教育委員会が送付するその許可書を一般入学願書に添付すること。

6 学力検査

- (1) 検査教科 国語、社会、数学、理科、外国語（英語）
(2) 検査日時 令和7年3月7日（金）8時20分まで検査会場の控室に集合すること。
(開場時刻：7時30分)

時 間	教 科	時 間	教 科
8:50～9:40	国 語	12:50～13:40	理 科
10:00～10:50	数 学	14:00～14:50	外国語 (英語)
11:10～12:00	社 会	〔 14:00 から約10分間は リスニングテスト 〕	

- (3) 検査会場 本校
(4) 検査教科の配点 国語、社会、数学、理科、外国語（英語） 各100点
(5) 携 帯 品 ①受検票
②筆記用具（鉛筆（シャープペンシルを含む。ただし芯の濃さは2B、B、HBとし、シャープペンシルの芯の太さは0.5mm以上とする。）、消しゴム、定規、コンパス、鉛筆削り。定規は三角・直定規のいずれでもよい。）
③昼食
④上履き
⑤腕時計
⑥聴覚障がい者で補聴器を必要とする者は、使用してもよい。
⑦連絡手段として持参した携帯電話、スマートフォンについては、校内では電源を切り、使用してはならない。
※ただし、次のものを持参してはならない。
ア 分度器又は分度器のついた定規
イ 公式や法則等の書いてある筆記用具
ウ 計算機能や英単語表示機能、通信機能等の付いた腕時計等の電子機器類
エ 下敷
オ その他、検査の公正を欠くおそれのある物

7 選抜及び合格者の発表

- (1) 選抜は、調査書及び学力検査の成績等に基づき、本校の特色に配慮しつつ、本校の高等学校教育を受けるに足る能力・適性等を判定して行う。
(2) 調査書中の第3学年の各教科の評定合計と学力検査の成績の比率は3：7とする。
(3) 合格者の発表は、令和7年3月17日（月）に受検番号のWebへの公開及び本校生徒昇降口前の掲示（16時予定）により行い、合格者へ「合格通知書」を送付する。Webへのアクセス方法については、後日、受検票とともに送付する。

8 個人情報の提供

- (1) 受検者の個人情報（学力検査の教科別得点）の提供は、合格発表後郵送により行う。
(2) 個人情報の提供希望者は、入学願書に郵送による個人情報の提供希望の有無を記入の上、返信用定形長3号封筒（簡易書留郵便とし、出願者本人の住所・氏名を記入の上親展扱いとし、返信用切手460円分〔郵送料110円及び簡易書留料金350円〕を貼ったもの）を出願の際に提出すること。

9 追検査

- (1) 対象者
志願者のうち、次の①～②のいずれかに該当し、3月7日実施の学力検査（以降「本検査」という。）の受検ができず、追検査の受検を希望する者。ただし、本検査を一部でも受検した者は、原則として追検査の対象とはならない。
①インフルエンザ等の感染症に罹患するなどし、本検査を受検できない者。
②真にやむを得ない理由により、本検査を受検できない者。

《記入例》

460円分の 切手	9900041
簡易書留	山形市緑町二丁目2番7号
親展	山形北子様

- (2) 受検の手続
 追検査の受検を希望する者は、次の①～②の連絡等を行う。
 ①本検査が受検できないと判明したら、速やかに在籍又は出身中学校長に連絡する。
 ②上記(1)①の場合、医師の診断書を、上記(1)②の場合、本検査を受検できない理由を証明する書類を、在籍又は出身中学校長が定める期日までに在籍又は出身中学校長に提出する。
- (3) 追検査の内容及び日時等
 ①検査内容と日時
 検査内容は上記「6 学力検査」に準じる。検査日時は令和7年3月12日(水)学力検査(時間は本検査に同じ)とする。
 ②検査会場
 本校
- (4) 追検査の選抜における取扱い
 追検査の結果と本検査の結果は同等に扱う。

10 その他

- (1) 本校を志願した者は、他の公立高等学校を併願できない。ただし本校音楽科を第2志望とすることができる。
- (2) 本校音楽科を第2志望とする者は、適性検査を受検しなければならない。適性検査は、音楽科一般入学者選抜の適性検査と同一の要項で実施する。適性検査選択受検種別・受検曲目記入表(一般)及び楽譜も提出すること。また、3月7日(金)学力検査終了後適性検査に関する連絡を行う。3月7日(金)は適性検査のための練習をすることができる。詳しくは、出願後受検票と一緒に配布されるプリントを参照すること。
- (3) 出願書類を請求する場合は、在籍又は出身中学校で一括請求する。なお、郵送による請求の場合には後日返信料を切手で送る。
- (4) 出願取消しや締切り前における変更は、必ず公文書を添えて行う。
- (5) 合格者オリエンテーションは3月21日(金)午後実施予定。

参考

普通科 令和6年度第1学年経費(年額)

入 学 金	5,650円	修学旅行積立金	60,000円
授 業 料	118,800円	制 服 代(夏・冬)	約 75,000円
生 徒 会 費	11,160円	体育着・シューズ代	約 25,000円
P T A 会 費	5,760円	教 科 書 代	約 37,500円
緑 陵 後 援 会 費	15,480円	学 年 諸 経 費	約 52,000円
進 路 指 導 費	1,200円		

※就学支援金制度の対象となる生徒は、原則、授業料の納付が不要です。
 詳しくは、別添のお知らせをご覧ください。

音樂科募集要項

音楽科推薦入学者選抜

1 募集する課程・学科と募集人員

全日制の課程・音楽科 入学定員（40名）の60％程度

ただし、県外志願者の受入れ制度による県外志願者の募集人員は推薦入学者選抜及び一般入学者選抜を合わせて入学定員の10％程度までとする。

2 志願資格

令和7年3月に中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校を卒業する見込みの者若しくは中等教育学校の前期課程（以下「中学校」という。）を修了（以下「卒業」という。）する見込みの者のうち、次の条件を満たす者で、合格した場合は、入学が確約できる者。

- (1) 音楽科の学習に対する強い志望があり、目的意識が明確・適切であること。
- (2) 音楽科に対する適性、興味及び関心を有すること。
- (3) 次の本校が定めるキャリア形成に係る要件と成績評定概況に係る要件の両方に該当する者であること。

キャリア形成に係る要件

明確な目的意識を持ち、将来さらに高度な専門分野の教育を受けることを希望し、音楽に対する適性、興味および関心と得意領域（声楽、器楽）を有する者。

成績評定概況に係る要件

評定合計が23以上の者。

3 通学区域

全県1学区とする。

4 出願に必要な書類

A 共通に必要な書類

(1) 推薦入学願書

- ①用紙は本校で定めたもの（黄色の用紙）を使用し、記入上の注意に従って正確に記入する。
- ②2,200円の山形県収入証紙を貼る。ただし、消印はしないものとする。

(2) 自己推薦書

用紙は本校で定めたもの（黄色の用紙）を使用し、記入上の注意に従って正確に記入する。

(3) 調査書

山形県教育委員会で定めた様式及び手続きに従って作成したものとする。

(4) 適性検査選択受検種別・受検曲目記入表（推薦）

用紙は本校で定めたもの（黄色の用紙）を使用し、必要事項を記入する。

(5) 楽譜（14ページ参照）

B 個別に必要な書類

(1) 自己申告書

進路等相談を踏まえ、本校校長がその提出を認めたとき。

C その他の書類

(1) 中学校長は、本校校長に「評定概況」を1部提出する。

ただし、県外からの志願者及び特別支援学校からの志願者については提出を要しない。

5 書類の提出

(1) 出願書類は「推薦入学者選抜志願者名簿」を添えて、在籍中学校長を経由して本校校長に提出する。

(2) 提出先 〒990-0041 山形市緑町二丁目2番7号（TEL（023）622-0427）

山形県立山形北高等学校長あて

(3) 受付期間

令和7年1月20日（月）から1月24日（金）12時までとする。郵送の場合でも締切日時までに必着とする。

(4) その他

- ①郵送する場合には、簡易書留郵便とし、表に「推薦入学願書在中」と朱書する。なお、原則として返信用切手460円分〔郵送料110円及び簡易書留料金350円分〕を貼った出願者本人の在籍中学校長あての返信用定形長3号封筒を同封すること。（但し、複数の志願者の書類を郵送する場合、2人～5人まで返信用切手530円分、6人～8人まで返信用切手620円分）
- ②出願書類を本校に直接持参し提出する場合には、9時から16時45分まで、本校北高会館で受け付ける。

ただし、1月24日（金）は12時までとする。

- ③ア 一家転住等で県外から志願する者は、その都道府県内の公立高等学校に志願しない旨の在籍中学校長の証明書を添え、令和7年1月末を目途に学区外高等学校志願許可願1部を山形県教育委員会教育長に提出し、県教育委員会が送付するその許可書を推薦入学願書に添付すること。

イ 県外からの志願者のうち「県外志願者受入れ制度」を理由とし志願する者は、「県外志願者受入れ校への届出書」及び「当該都道府県の公立高等学校を志願しない旨の在籍中学校長の証明書」それぞれ1部を推薦入学願書に添付し、出願すること。なお、「県外志願者受入れ校への届出書」のダウンロードについては本校ホームページを参照すること。

6 面接及び適性検査

推薦入学志願者については、次により面接及び適性検査を行う。

- (1) 日 時 令和7年2月3日(月) 面接 9時30分～
適性検査 面接終了後
- (2) 場 所 本 校 (受付：7時50分～8時50分 本校音楽棟入口 開場時刻：7時45分)
- (3) 面 接
 - ①形態・時間 グループ面接（1グループ5名程度） 1グループ10分程度
 - ②評価の観点 ア 目的意識を持っている。 イ 積極性を持っている。
ウ コミュニケーション力を持っている。 エ 望ましい態度である。
 - ③評価の段階 A B C D E（5段階）
- (4) 適性検査内容
詳細は「令和7年度山形県立山形北高等学校音楽科適性検査内容・選択受検課題曲」を参照のこと。
 - ①全員が受検するもの
新曲視唱……平易な旋律を見て階名で歌う。
 - ②選択して受検するもの（ア声楽、イ器楽のうちから一つを選択する。）
ア 声 楽
イ 器 楽（管弦打楽器は無伴奏とする。）
- (5) 適性検査の評価の観点
 - ①全員が受検するもの（新曲視唱）
楽譜を素早く正確に読み取り、歌唱することができる。
調性 音部記号 拍子記号 音程 リズム
 - ②選択して受検するもの（声楽・器楽）
ア 技術面の観点 テンポ・リズム・音程・音量・ダイナミクス・音色の均質性・音色の美しさ・発音・
音域・バランス・フレーズ処理・基本的な奏法・曲の難易度・演奏ミス・演奏マナー
イ 表現面の観点 叙情・躍動・スケール・様式・構成・緊張・集中・色彩
- (6) 適性検査の評価段階
新曲視唱、選択して受検するもの（声楽・器楽）いずれも A B C D E F（6段階）
- (7) 携帯品
 - ①受検票
 - ②筆記用具
 - ③選択して受検するものの演奏楽譜
 - ④管弦打楽器で演奏する者は、その楽器
 - ⑤昼食
 - ⑥上履き
 - ⑦腕時計
 - ⑧連絡手段として持参した携帯電話、スマートフォンについては校内では電源を切り、使用してはならない。
※ただし、通信機能等の付いた腕時計等の電子機器類を持参してはならない。

7 選抜及び合格者の発表

- (1) 選抜は、調査書、面接及び適性検査の結果を総合して行う。ただし自己推薦書、自己申告書を資料として用いる。
- (2) 選抜規準 A 調査書学習の記録：B 調査書学習の記録以外：C 面接：D 適性検査
A20：B5：C5：D70
- (3) 推薦入学者選抜の選抜内定結果について、中学校長あて親展扱いで、簡易書留郵便にて令和7年2月10日(月)必着で「推薦入学者選抜結果通知書」を送付し、合格内定者には中学校長を通じ「合格内定通知書」を送付する。
ただし、合格者の発表は、令和7年3月17日(月)に受検番号のWebへの公開及び本校生徒昇降口前の掲示（16時予定）により行い、合格者への「合格通知書」を送付する。Webへのアクセス方法については、後日、受検票とともに送付する。

8 その他

- (1) 出願書類を請求する場合は、在籍中学校で一括請求する。なお、郵送による請求の場合には後日返信料を切手で送る。
- (2) 出願取消しや締切り前における変更は、必ず公文書を添えて行う。
- (3) 推薦入学者選抜の合格内定者は、改めて他の高等学校に出願することはできない。推薦入学者選抜に漏れた者で、本校音楽科あるいは普通科の一般入学者選抜に志願する者は、新たに一般入学願書の提出が必要となる。その際、入学者選抜手数料の納付は要しない。ただし、普通科を志願する者は、東学区・北学区に居住する者に限る。
事情により、他の高等学校に志願を変える場合は、所定の「志願変更の手続き」によること。
- (4) 合格者オリエンテーションは3月21日(金)午後実施予定。

音楽科一般入学者選抜

1 募集する課程・学科と募集人員

全日制の課程・音楽科 40名（推薦入学者を含む）

ただし、県外志願者受入れ制度による県外志願者の募集人員は推薦入学者選抜及び一般入学者選抜を合わせて入学定員の10%程度までとする。

2 志願資格

次の各号の一に該当する者とする。

- (1) 令和7年3月に中学校、これに準ずる学校又は義務教育学校を卒業見込みの者若しくは中等教育学校の前期課程（以下「中学校」という。）を修了（以下「卒業」という。）する見込みの者で令和7年度推薦入学者選抜、中高一貫教育における連携型入学者選抜及び前期（特色）選抜において合格内定していない者。
- (2) 中学校を卒業した者。
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第95条の各号のいずれかに該当する者。

3 通学区域

全県1学区とする。

4 出願に必要な書類

A 共通に必要な書類

(1) 一般入学願書

- ①用紙は本校で定めたもの（水色の用紙）を使用し、記入上の注意に従って正確に記入する。
- ②2,200円の山形県収入証紙を貼る。ただし、消印はしないものとする。

(2) 調査書

山形県教育委員会で定めた様式及び手続きに従って作成したものとする。

(3) 適性検査選択受検種別・受検曲目記入表（一般）

用紙は本校で定めたもの（水色の用紙）を使用し、必要事項を記入する。

(4) 楽譜（14ページ参照）

B 個別に必要な書類

(1) 自己申告書

進路等相談を踏まえ、本校校長がその提出を認めたとき。

(2) 推薦入学者選抜受検票

本校音楽科の推薦入学者選抜に漏れた者が志願するとき。

(3) 推薦入学者選抜願書の写し、連携型入学者選抜願書の写し又は前期（特色）選抜入学願書の写し 他校の推薦入学者選抜、連携型入学者選抜又は前期（特色）選抜に漏れた者が志願するとき。

(4) 在籍高等学校長の志願承諾書

高等学校に在籍のまま志願するとき。

C その他の書類

中学校長は、本校校長に「評定概況」を1部提出する。ただし、県外からの志願者及び特別支援学校、令和5年度以前の卒業生からの志願者については、提出を要しない。

5 書類の提出

- (1) 出願書類は「一般入学者選抜志願者名簿」を添えて、在籍又は出身中学校長を経由して本校校長に提出する。
- (2) 調査書、評定概況、学区外志願に係る書類、自己申告書については、推薦入学者選抜の志願にかかわって、本校に提出済の場合は、提出を要しない。
- (3) 提出先 〒990-0041 山形市緑町二丁目2番7号（TEL（023）622-0427）
山形県立山形北高等学校長あて
- (4) 受付期間
令和7年2月17日（月）から2月21日（金）12時までとする。郵送の場合でも締切日時までに必着とする。
- (5) その他
 - ①郵送する場合には、簡易書留郵便とし、表に「一般入学願書在中」と朱書する。なお、原則として返信用切手460円分〔郵送料110円及び簡易書留料金350円分〕を貼った出願者本人の在籍又は出身中学校長あての返信用定形長3号封筒を同封すること。（但し、複数の志願者の書類を郵送する場合、2人～5人まで返信用切手530円分、6人～8人まで返信用切手620円分）
 - ②出願書類を本校に直接持参し提出する場合には、9時から16時45分まで、本校北高会館で受け付ける。ただし、2月21日（金）は12時までとする。
 - ③ア 一家転住等で県外から志願する者は、その都道府県内の公立高等学校に志願しない旨の在籍中学校長の証明書を添え、令和7年1月末を目途に学区外高等学校志願許可願1部を山形県教育委員会教育長に提出し、県教育委員会が送付するその許可書を一般入学願書に添付すること。
 - イ 県外からの志願者のうち「県外志願者受入れ制度」を理由とし志願する者は、「県外志願者受入れ校への届出書」および「当該都道府県の公立高等学校を志願しない旨の在籍中学校長の証明書」そ

れぞれ一部を一般入学願書に添付し、出願すること。なお、「県外志願者受入れ校への届出書」のダウンロードについては本校ホームページを参照すること。

6 学力検査

- (1) 検査教科 国語、社会、数学、理科、外国語（英語）
 (2) 検査日時 令和7年3月7日（金）8時20分まで検査会場の控室に集合すること。
 （開場時刻：7時30分）

時 間	教 科	時 間	教 科
8：50～9：40	国 語	12：50～13：40	理 科
10：00～10：50	数 学	14：00～14：50	外国語 （英語）
11：10～12：00	社 会	〔 14：00 から約10分間は リスニングテスト 〕	

- (3) 検査会場 本校
 (4) 検査教科の配点 国語、社会、数学、理科、外国語（英語） 各100点
 (5) 携 帯 品 ①受検票
 ②筆記用具（鉛筆（シャープペンシルを含む。ただし芯の濃さは2B、B、HBとし、シャープペンシルの芯の太さは0.5mm以上とする。）、消しゴム、定規、コンパス、鉛筆削り。定規は三角・直定規のいずれでもよい。）
 ③昼食
 ④上履き
 ⑤腕時計
 ⑥聴覚障がい者で補聴器を必要とする者は、使用してもよい。
 ⑦連絡手段として持参した携帯電話、スマートフォンについては、校内では電源を切り、使用してはならない。
 ※ただし、次のものを持参してはならない。
 ア 分度器又は分度器のついた定規
 イ 公式や法則等の書いてある筆記用具
 ウ 計算機能や英単語表示機能、通信機能等の付いた腕時計等の電子機器類
 エ 下敷
 オ その他、検査の公正を欠くおそれのある物

7 適性検査

- (1) 検査日時 令和7年3月8日（土）10時～12時
 (2) 検査会場 本校（9時まで本校第3音楽室に集合 開場時刻：8時）
 (3) 検査内容 詳細は「令和7年度山形県立山形北高等学校音楽科適性検査内容・選択受検課題曲」を参照のこと。
 選択して受検するものより ①声楽、②器楽のうちから一つを選択し、(b)の任意の1曲を演奏する。
 ①声楽
 ②器楽（管弦打楽器は無伴奏とする。）
 (4) 携 帯 品 ①受検票
 ②筆記用具
 ③選択して受検するものの演奏楽譜
 ④管弦打楽器で演奏する者は、その楽器
 ⑤上履き
 ⑥腕時計
 ※ただし、通信機能等の付いた腕時計等の電子機器類を持参してはならない。

8 選抜及び合格者の発表

- (1) 選抜は、調査書及び学力検査の成績等に基づき、本校の特色に配慮しつつ、本校の教育を受けるに足る能力・適性等を判定して行う。また、適性検査の結果を選抜の資料として加える。
 (2) 調査書中の第3学年の各教科の評定合計と学力検査の成績の比率は3：7とする。
 (3) 合格者の発表は、令和7年3月17日（月）に受検番号のWebへの公開と本校生徒昇降口前の掲示（16時予定）により行い、合格者へ「合格通知書」を送付する。Webへのアクセス方法については、後日、受検票とともに送付する。

9 個人情報の提供

- (1) 受検者の個人情報（学力検査の教科別得点）の提供は、合格発表後郵送により行う。
 (2) 個人情報の提供希望者は、入学願書に郵送による個人情報の提供希望の有無を記入の上、返信用定形長3号封筒（簡易書留郵便とし、出願者本人の住所・氏名を記入の上親展扱いとし、返信用切手460円分〔郵送料110円及び簡易書留料金350円〕を貼ったもの）を出願の際に提出すること。

10 追検査

(1) 対象者

志願者のうち、次の①～②のいずれかに該当し、3月7日、8日実施の学力検査、適性検査（以降「本検査」という。）の受検ができず、追検査の受検を希望する者。ただし、本検査を一部でも受検した者は、原則として追検査の対象とはならない。

- ①インフルエンザ等の感染症に罹患するなどし、本検査を受検できない者。
- ②真にやむを得ない理由により、本検査を受検できない者。

(2) 受検の手続

追検査の受検を希望する者は、次の①～②の連絡等を行う。

- ①本検査が受検できないと判明したら、速やかに在籍又は出身中学校長に連絡する。
- ②上記(1)①の場合、医師の診断書を、上記(1)②の場合、本検査を受検できない理由を証明する書類を、在籍又は出身中学校長が定める期日までに在籍又は出身中学校長に提出する。

(3) 追検査の内容及び日時等

①検査内容と日時

検査内容は上記「6 学力検査」「7 適性検査」に準じる。検査日時は令和7年3月12日（水）学力検査（時間は本検査に同じ）、3月13日（木）適性検査とする。

②検査会場

本校

(4) 追検査の選抜における取扱い

追検査の結果と本検査の結果は同等に扱う。

11 その他

- (1) 本校を志願した者は、他の公立高等学校を併願できない。ただし東学区・北学区の居住者は本校普通科を第2志望とすることができる。
- (2) 出願書類を請求する場合は、在籍又は出身中学校で一括請求する。なお、郵送による請求の場合には後日返送料を切手で送る。
- (3) 出願取消しや締切り前における変更は、必ず公文書を添えて行う。
- (4) 3月7日（金）学力検査終了後適性検査に関する連絡を行う。3月7日（金）は適性検査のための練習をすることができる。詳しくは、出願後受検票と一緒に配布されるプリントを参照すること。
- (5) 合格者オリエンテーションは3月21日（金）午後実施予定。

〈記入例〉

460円分の切手	9900041
簡易書留	山形市緑町二丁目2番7号
親展	山形北子様

参考

音楽科 令和6年度第1学年経費（年額）

入学金	5,650円	体育着・シューズ代	約 25,000円
授業料	118,800円	教科書代	約 28,500円
生徒会費	11,160円	学年諸経費	約 49,000円
P T A 会費	5,760円	育成会(保護者会)費	15,000円
緑陵後援会費	15,480円	定期演奏会経費	5,000円
進路指導費	1,200円	強化指導費	10,000円
修学旅行積立金	60,000円	演奏服代(女子)	23,980円
制服代(夏・冬)	約 75,000円	蝶ネクタイ代(男子)	1,320円
制服代(男子)	約 60,000円	専門教科教材費	約 10,000円

※就学支援金制度の対象となる生徒は、原則、授業料の納付が不要です。
詳しくは、別添のお知らせをご覧ください。

令和 7 年 度

山形県立山形北高等学校音楽科

適性検査内容・選択受検課題曲

山形県公立高等学校入学者選抜における音楽科の適性検査について

1 検査会場

山形県立山形北高等学校

2 受検者の携帯品

- (1) 受検票
- (2) 筆記用具
- (3) 選択して受検するものの演奏楽譜
- (4) 管弦打楽器で演奏する者は、その楽器
- (5) 昼食（一般入学者選抜は必要ありません）
- (6) 上履き
- (7) 腕時計

3 検査内容

◆推薦入選

- (1) 全員が受検するもの
新曲視唱……平易な旋律を見て階名で歌う。
- (2) 選択して受検するもの
 - ①声楽、②器楽のうちから一つを選択する。
下記の(a)(b)いずれも暗譜および繰り返しの必要はない。なお、曲の途中で止められる場合がある。
 - ①声楽
次の(a)と(b)の2曲を演奏する。
(a)コンコーネ50番 No.1～No.10より 任意の1曲
母音又はMa・La等で歌うこと（調は自由）
(b)中学校教科書掲載程度の歌唱教材、または古典イタリア歌曲集より任意の1曲
 - ②器楽
以下に示される中から任意の楽器を選び、(a)と(b)の2曲を演奏する。なお、打楽器については小太鼓、もしくはマリンバのどちらかを選択すること。管弦打楽器は無伴奏とする。

○ピアノ

- (a)次より任意の1曲
ツェルニー30番練習曲
ツェルニー40番練習曲
ツェルニー50番練習曲
クレメンティ「グラドス・アド・パルナッスム」
クラーマー＝ビューロー「60の練習曲」
モシュコフスキー15の練習曲
- (b)任意のソナチネ、ソナタより一つの楽章、または曲の難易度がそれと同程度以上の任意の1曲
(ただし、緩徐楽章は除く。)

○フルート

- (a)ケーラー：「フルートのための練習曲」第1巻より 第1番
- (b)任意の1曲

○オーボエ

- (a)ヒンケ：「オーボエのための教則本」より 練習曲 第20番
- (b)任意の1曲

○クラリネット

- (a)ランスロ：「26のエチュード」より 第13番
- (b)任意の1曲

○ファゴット

- (a)ワイゼンボーン：「バスーン練習曲集」第1巻 第1部より 任意の1曲
- (b)任意の1曲

○サキソフォン

- (a)ラクール：「50の練習曲」第1巻より 任意の1曲
(b)任意の1曲

○トランペット

- (a)コープラッシュ：「60のエチュード」より 任意の1曲
(b)任意の1曲

○ホルン

- (a)テーヴェ：「60のエチュード」より 任意の1曲
(b)任意の1曲

○トロンボーン

- (a)ロッシュ：「メロディアス・エチュード」Book 1 No.2・No.3・No.4 より 任意の1曲
(b)任意の1曲

○ヴァイオリン

- (a)クロイツェル：「42の練習曲」より 任意の1曲
(b)任意の1曲

○ヴィオラ

- (a)クロイツェル：「42の練習曲」より 任意の1曲
(b)任意の1曲

○チェロ

- (a)ドッツァウアー：「チェロ教本」より 任意の1曲
(b)任意の1曲

○コントラバス

- (a)シマンドル：「30のエチュード」No.1～No.4 より 任意の1曲
(b)任意の1曲

○小太鼓

- (a)網代景介・岡田知之：「小太鼓100曲集」より 第41番
(b)任意の1曲

○マリンバ

- (a)ゴールドンベルグ：「現代教本・39の練習曲」より I
(b)任意の1曲

(3) 楽譜の提出

願書提出の際に、選択して受検するもの(a)(b)2曲の書き込みのない楽譜の写しを、各ページ縦A4判サイズで貼り付けをせずに片面印刷で提出すること。

◆一般入選

(1) 推薦入選内容の「(2) 選択して受検するもの」より

①声楽 ②器楽から一つを選択し、(b)の任意の1曲を演奏する。

(2) 楽譜の提出

願書提出の際に、選択して受検するもの(b)の書き込みのない楽譜の写しを、各ページ縦A4判サイズで貼り付けをせずに片面印刷で提出すること。推薦入選と同じ曲目の場合も再提出すること。

1	楽譜
♪ ♪ ♪ →	
A 4判	

楽譜	2
A 4判	

リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。